

体成分分析とは



ヒトの体を化学的に分析すると、水分、タンパク質、ミネラル、脂肪の4つの成分に分けられます。体成分分析は、これらの成分の体内分布を算出して、バランスを調べる検査です。

検査では、両手と両足首に電極を装着して、電気抵抗を測定します。両腕・両足・体幹など、体の各部位の体成分が調べられます。検査時間は5分～10分です。

体成分分析でわかること



体を構成する基本成分の測定から、栄養状態に問題がないか、体がむくんでいないか、バランス良く分布しているかなどが分かります。部位ごとに測定することができるため、例えば腕の筋肉に左右差があるか、足のむくみ具合に左右差があるかなども調べることができます。

また、タンパク質や塩分の食事制限などを行っている場合、体重・筋肉量・脂肪量などの指標を調べることにより、食事は適切か、むくみの程度などを評価することができます。



*ペースメーカーを埋め込まれている場合、検査を受けることができないため、検査時にお声がけください。

体成分分析のあれこれ Q&A よくある質問にお答えします

Q：検査はどのような体勢で行うのですか？

A：ベッドに上向きに寝て頂いて測定するのが基本ですが、車椅子に座った状態でも検査することができます。体勢の条件を揃えるために、定期的に検査を行う場合は、同じ体勢で測定します。

Q：検査時の服装に関して注意事項を教えてください。

A：両手と両足首の肌が見えるようにまくりあげて頂くだけで測定できますが、腕時計やブレスレットなどの金属類は外しておいてください。ペースメーカーを埋め込んでいる場合、検査をすることができないため、必ずお声をおかけください。

Q：検査はいつ行っても良いのでしょうか？

A：脂肪や水分量、体重などは、食事や透析の前後で変動します。定期的に検査を行う場合、測定条件を揃える必要があります。透析を行っている患者様は、透析直後に検査することが多いです。担当医にご確認の上、検査室にお越し下さい。

